



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社パピレス
コード番号 3641 URL <https://papy.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井康子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 須永喜和
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東
TEL 03-6272-9533

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,978	8.2	13	88.0	214	46.9	43	79.7
2023年3月期第2四半期	9,786	11.1	114	65.1	404	17.2	215	12.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 97百万円 (66.5%) 2023年3月期第2四半期 290百万円 (46.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	4.43	4.42
2023年3月期第2四半期	23.51	23.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,468	10,366	70.8
2023年3月期	13,395	9,431	69.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,237百万円 2023年3月期 9,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,149	2.8	732	72.1	771	43.5	437	33.5	47.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) JadeComiX株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	10,326,880 株	2023年3月期	10,326,880 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	288,717 株	2023年3月期	1,134,917 株
------------	-----------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	9,871,819 株	2023年3月期2Q	9,154,036 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)「期末自己株式数」には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2024年3月期2Q 110,000株、2023年3月期 150,000株)が含まれています。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数(2024年3月期2Q 139,945株、2023年3月期2Q 179,945株)に含めています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、当社グループの事業は電子書籍事業のみであり、重要な事業拠点も当社のみとなっているため報告セグメントはありません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復がみられます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、ウクライナ情勢の長期化や円安基調の継続等による物価上昇（インフレ）の影響も受けています。

電子書籍の市場環境は、参入企業も多く、厳しい競争が続いています。コンテンツ需要の増加により、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コストが上昇し、集客を強化するための、広告宣伝や販促コストも拡大傾向となっています。

また、個人情報保護法の改正に伴うターゲティング広告の規制強化によって広告効率が低下し、ユーザーの消費行動への下押し圧力が依然として高まっていることにより、販促効果も弱まり、市場規模の成長が減速しています。

このような環境の中で、当社グループは、顧客第一主義の基本理念に基づき、サービスの向上及び他社との差別化を図るためのブランド戦略施策を実施しています。

サービス向上施策は、レンタル販売方式の拡充を進めています。

ブランド戦略施策は、中長期的な事業拡大を目的とした広告宣伝を、先行投資として積極的に行っています。

また、ユーザーへの還元を目的とした販売促進施策も積極的に行っています。

さらに、将来市場が拡大すると予測される英語圏や中国語圏を中心とした海外事業への投資強化及び、今後市場に普及していく5G端末向けの次世代コンテンツの開発並びにオリジナルコンテンツの増産にも取り組んでいます。

2023年5月には、セガサミーホールディングス株式会社と、協力してWebtoonコンテンツ及び、サービスの開発とオリジナルコンテンツの制作を行うため、合弁会社「JadeComiX株式会社」（当社の連結子会社）を設立しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は8,978百万円（前年同四半期比8.2%減）、営業利益は13百万円（前年同四半期比88.0%減）、経常利益は214百万円（前年同四半期比46.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43百万円（前年同四半期比79.7%減）となりました。

以下、当第2四半期連結累計期間における主な活動状況を報告します。

(集客施策)

割引やポイント還元などが適用されるクーポンの配布及び、人気作品がお得に読めるRenta!限定レンタルキャンペーンを実施した結果、「Renta!」の会員数は900万人を突破しました。

また、草薨剛さんと神木隆之介さん共演のTVCMの放送を実施し、ゴールデンウィーク中に、TVCMに合わせて、特別企画のレンタル&無料試し読み特集「Renta!のゲキ推し!」を実施しました。

(サイト改良施策)

ユーザビリティの向上を目指したサイト改良を継続的に実施しています。

(オリジナルコンテンツ施策)

国際的に拡大が見込まれるフルカラー縦スクロールコミック市場において、オリジナル作品の創造を推進することと、グローバルダイレクトでコンテンツを展開可能な縦スクロールコミックを通じて、新たなIP創出や既存IPの活性化を実現していくことを目指すため、セガサミーホールディングス株式会社と共同で、フルカラー縦スクロールコミックレーベル「ZEToon」を立ち上げました。

また、「Rentaコミックス」のオリジナル漫画レーベル「COMICスピア」よりリリースする作品について、「ムーンライトノベルズ」と共同で、「オトナ女子コミカライズ原作大賞」コンテスト及び「小説家になろう」と共同で、「コミカライズ原作大賞 第3回」コンテストを実施しています。

さらに、長年かけて開発してきたカラー縦スクロールのRenta!オリジナルコミック「タテコミ」について、大好評の作品が続々掲載中で、『聖女なのに国を追い出されたので、崩壊寸前の隣国へ来ました～力を解放したので国が平和になってきました元の国まで加護は届きませんよ～』が、連載わずか半年余りで販売数100万冊を突破しました。

(次世代コンテンツ施策)

5G端末向けの縦スクロール型のコミック「タテコミ」の拡充及びマンガにモーションと音声を付加し、スマートフォンでの視聴に最適のタテ型アニメーション形式の動画コンテンツ「アニコミ」の制作体制の強化を進めています。累計閲覧冊数130万冊を突破した大人気フルカラー縦スクロールコミック『魔寄せ宮女、孤高の祓魔師に拾われました』のアニコミ化が実現し、アニコミ版の先行上映の試写会イベントを開催しました。

また、自社オリジナルアニコミ『女体化した僕を騎士様達がねらっています』の第2期TV放送も実施しています。

(海外展開施策)

海外向けの直営販売サイトの「英語版Renta!」、「中国語繁体字版Renta!」の売上拡大を目指して、集客、サイト改良、コンテンツの拡充を進めると同時に、自社オリジナルコンテンツの海外展開にも積極的に取り組んでいます。中国最大級のコミックサイト・アプリ「テンセント動漫」で、オリジナルフルカラータテコミ『魔寄せ宮女、孤高の祓魔師に拾われました』の中国語簡体字版の配信を開始しました。

また、海外取次会社AAG（アルド・エージェンシー・グローバル株式会社）を通して、英語、中国語及び韓国語のコンテンツ取次販売を行っています。直営以外の海外販売サイトにも展開し、販路拡大が進んでいます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は14,468百万円（前連結会計年度末比8.0%増）となりました。

流動資産は13,666百万円（前連結会計年度末比10.4%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金が11,594百万円、売掛金が1,797百万円です。

固定資産は802百万円（前連結会計年度末比21.3%減）となりました。主な内訳は、投資その他の資産が766百万円です。なお、重要な設備の新設および除却はありません。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,102百万円（前連結会計年度末比3.5%増）となりました。

流動負債は4,100百万円（前連結会計年度末比3.5%増）となりました。主な内訳は、買掛金が1,606百万円、前受金が1,561百万円です。

固定負債は1百万円（前連結会計年度末比40.0%減）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,366百万円（前連結会計年度末比9.9%増）となりました。主な内訳は、資本金が414百万円、資本剰余金が485百万円、利益剰余金が9,688百万円です。

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は70.8%（前連結会計年度末69.9%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結結果計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,241百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の残高は9,983百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は294百万円（前年同四半期比137.4%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益214百万円、為替差益245百万円、法人税等の還付251百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果獲得した資金は18百万円（前年同四半期は0百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出906百万円、定期預金の払戻による収入902百万円、敷金及び保証金の回収による収入21百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は731百万円（前年同四半期は93百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額93百万円、自己株式の取得による支出85百万円、自己株式の処分による収入850百万円、非支配株主からの払込みによる収入60百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,231	11,594
売掛金	1,729	1,797
コンテンツ資産	38	38
仕掛コンテンツ資産	1	2
その他	379	234
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	12,376	13,666
固定資産		
有形固定資産	37	35
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
その他	981	843
貸倒引当金	—	△77
投資その他の資産合計	981	766
固定資産合計	1,019	802
資産合計	13,395	14,468
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,518	1,606
未払金	706	702
未払法人税等	0	73
前受金	1,476	1,561
賞与引当金	113	71
株式報酬引当金	77	25
その他	68	59
流動負債合計	3,962	4,100
固定負債		
その他	1	1
固定負債合計	1	1
負債合計	3,964	4,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	414	414
資本剰余金	820	485
利益剰余金	9,738	9,688
自己株式	△1,681	△475
株主資本合計	9,292	10,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	7
為替換算調整勘定	62	117
その他の包括利益累計額合計	66	124
新株予約権	33	33
非支配株主持分	39	95
純資産合計	9,431	10,366
負債純資産合計	13,395	14,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,786	8,978
売上原価	5,140	4,656
売上総利益	4,645	4,322
販売費及び一般管理費	4,530	4,308
営業利益	114	13
営業外収益		
受取利息	9	22
退会者未使用課金収益	1	1
為替差益	280	252
その他	0	1
営業外収益合計	292	277
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	—	72
投資事業組合運用損	2	4
その他	—	0
営業外費用合計	2	77
経常利益	404	214
税金等調整前四半期純利益	404	214
法人税、住民税及び事業税	183	64
法人税等調整額	3	110
法人税等合計	186	175
四半期純利益	218	39
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	215	43

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	218	39
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	3
為替換算調整勘定	69	54
その他の包括利益合計	72	58
四半期包括利益	290	97
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287	101
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	404	214
減価償却費	4	4
株式報酬費用	29	27
投資事業組合運用損益 (△は益)	2	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	70
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△42
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	25	25
受取利息及び受取配当金	△9	△22
為替差損益 (△は益)	△258	△245
売上債権の増減額 (△は増加)	71	△64
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12	△0
仕入債務の増減額 (△は減少)	42	86
未払金の増減額 (△は減少)	7	△6
前受金の増減額 (△は減少)	36	68
その他	△137	△99
小計	201	20
利息及び配当金の受取額	9	22
法人税等の支払額	△87	△0
法人税等の還付額	—	251
営業活動によるキャッシュ・フロー	124	294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△909	△906
定期預金の払戻による収入	909	902
有形固定資産の取得による支出	△0	△1
敷金及び保証金の回収による収入	—	21
その他	—	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△0	18
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△85
自己株式の処分による収入	—	850
配当金の支払額	△93	△93
リース債務の返済による支出	△0	△0
非支配株主からの払込みによる収入	—	60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93	731
現金及び現金同等物に係る換算差額	219	196
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	249	1,241
現金及び現金同等物の期首残高	9,336	8,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,585	9,983

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、Webtoonコンテンツ及びサービスの開発とオリジナルコンテンツの制作を目的として、JadeComiX株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めています。なお、JadeComiX株式会社は、当社の特定子会社に該当しています。